

# 南の国の「ナデシコ」税理士

成功へのキセキ



## 第42回 ビットコインに未来は、あるのか…

仮想通貨が、すごい勢いで値下がりがしていますね…(執筆日現在)。

コインチェックがハッキングされて、時価580億円のNEMという通貨が盗まれたというニュースのおかげで、「仮想通貨」がにわかに脚光を浴びてきました。私も、そんなに大きな金額ではありませんが、時流に乗って^^、損をしています…(現在進行形)。

本当は、私はいわゆる「投資」というものが、好きではありません。いや、大っ嫌いと言った方が、いさぎよいかもしれないレベルです。なので、株はもちろん、FXも投資信託も金投資もずっと敬遠してきました。

なぜかって？

それは、20代のころ一度だけ証券会社の門をくぐって、もう二度とやらないと決めたからです。当時、自分なりに日経新聞を読んだり、企業情報を調べて、どの会社の株を買えば良いか調べたりしていたのですが、証券会社の担当者は、私の意見をことごとく無視して、「この株を買うべきだ」とか、「まだ売ったらダメ」と有無を言わさぬアドバイス(?)をくれたものでした。

いま思えば、投資総額100万円のいかにも無知そうな若い女子なんて、プロの証券マンからしたら、赤子同然。そんな小娘の言うことに、聞く耳もたなくて当然かもしれません。世間知らずで、自分の意見に自信も持てなかった私は、担当者の強力なブッシュを否定することも出来ず、結果、本意な株の売り買いを何度かする羽目になったのです。

すると案の定というか、担当者のいうアドバイスは、ことごとく外れ、私が買ったかった株はチャンと値上がりするということが続き、100万円の元手が80万円になったところで、損切りをする決心をしたのです。

当時の私にとっては、20万円はなげなしの大金!!

これ以上、損をするのは嫌だという気持ちもありましたが、本当か嘘か、証券会社は優良顧客を儲けさせるために、窓口にくる小口の客には損をさせる、という話を聞くにおよんで、担当者が信じられなくなったからです。

けれど、株式投資が向いてないと思ったのは、単に損をしたからだけではありません。株価が上がった・下がったということに一喜一憂する日々が、嫌になったからです。自分が関与できないところで、株価が下がるのは、ものすごく理不尽な気がしたし、逆に株価が上がっても、自分が努力した結果ではないから、全然嬉しくありません。

稼ぐなら、自分の腕で稼ぎたい。自分の力不足で損をしても、納得ができる。

税理士の勉強を始める前、世間知らずのお子ちゃまだったころ、まだ自分が何者かも分からなかったころ、将来稼ぐなら自分の力で稼ごうと思った貴重な体験でもありました。

と、前置きが長くなりましたが、そんな私がどうして「投機的」と言われる仮想通貨を買ってしまったのか?それは、やっぱり職業会計人としての興味からです。

2年前に、AIが囲碁のプロを負かして話題になったり、オックスフォード大学が発表した、「20年後になくなる職業」に税理士や会計士が含まれていたのは、皆さんもご存じのとおりです。ちょうどその頃、税理士会でFINTECについて簡単なプレゼンをする機会がありました。資料づくりのために、AIやブロックチェーンについて詳しく調べたのをきっかけに、新時代を予感させる仮想通貨を体験したい!!と興味が湧いたのです。ところが!ちょうど当時、マウントゴックスという仮想通貨の取引所から100億円のビットコインが盗まれるという事件がありました。

え?

100億円が知らないうちに、なくなってた??

しかも、ハッキングかどうかも定かではない。ともかくデータが消えてしまった…というような内容だったと記憶しています。

あまりの金額の大きさと、背景もはっきり分からない怪しげなニュースに、やっぱり仮想通貨は別世界のものだとわと、ビットコイン熱はすっかり冷めてしまいました。

そして仮想通貨元年といわれる2017年!

ビットコインで小遣い稼ぎしたあの、ブロックチェーンのうんちくをたれたりだの、突然、本当に突然、あちこちからそんな話が聞こえてくるようになったのです。それも株とかFXとか、これまで投資とは縁のなかった、いわゆる普通の人たちから。

ちょっと待ってよ。私だって、前から仮想通貨には興味あったのよ。

というわけで、なんだか私も試してみたくなったのです。ともかく自分でやってみなければ、仕組みも分からないし、お客様から相談されても、イもワルイも言えないし。

さて、仮想通貨の取引を始めるために最初に決めなくてはいけないのは、どの取引所を使うかということです。ネットなどで一番、評判のいいビットフライヤーか、当時テレビコマーシャルを

## ◆筆者 原 尚美 (はら なおみ) プロフィール

税理士。東京外国語大学卒業。TACの全日本答練(現:全国公開模試)「財務諸表論」「法人税法」で全国1位の成績を収め、税理士試験に合格。直後に出産。育児と両立させるため、1日3時間だけの会計事務所からスタートし、現在は全員女性のスタッフ約30名の規模にまで成長。一部上場企業の子会社やグローバル企業の日本子会社などをクライアントにもつ。ミャンマーに会計サービスの会社を設立し、海外進出支援にも力を入れている。著書に『小さな会社のための総務・経理の仕事がわかる本』『小さな起業のファイナンス』(いずれもソーテック社)、『51の質問に答えるだけですぐできる「事業計画書」のつくり方(日本実業出版社)』『トコトわかる株式会社のつくり方(新星出版社)』『世界一ラクにできる確定申告(技術評論社)』『一生食っていくための土業の営業術(中経出版)』など。その他、「経理ウーマン」「デイの経営と運営」など雑誌への寄稿や、商工会議所、中小企業投資育成株式会社、日本政策金融公庫などでの、セミナー実績も多数。

ガンガン流していたコインチェックのどちらにしようか悩んで、ビットフライヤーにしたのは、せめてもの幸運というべきでしょう(汗)。

登録はいたって簡単。スマホに名前と住所を打ち込み、運転免許証を片手に持って、写メを撮れば3分で終了。コインを買うだけなら登録したその日から可能ですが、本人認証が完了しないと出金ができないので、それまではガマン、ガマン。

私が申し込んだのは仮想通貨がまさに最高値の時、新しく取引を始める人が殺到していたころなので、本人認証に2週間以上はかかりました。二段階認証など、必要なセキュリティの登録が終わったら、あとはなくしても構わないと思える金額を銀行から振り込んで好きな通貨を選ぶだけ。

通貨を買うのも売るのも、スマホをワンクリック。各コインのフローチャートも簡単に見れるので、本当にゲームを楽しんでいるかのような感覚です。

と、その時です!コインチェックが、ハッキングにあったのは!!!

えええええ~

ご、580億円が盗まれた~?!

その後は、皆さんご存じのとおり、仮想通貨の価格は下落の一途を辿るばかり。コインチェックのせいだけでなく、アメリカや中国で仮想通貨にマイナス要素の出来事が立て続けにおきているからのようです。

考えてみれば当然です。仮想通貨は、本当の貨幣のように国家という後ろ盾もなければ、株のように発行会社の業績という値上げの根拠もありません。仮想通貨の価格を引き上げているのは、まさに人間の欲望だけなのだから…。

それでも私は、高値で仮想通貨を買ってしまったことを、負け惜しみではなく、全然後悔していません。仮想通貨というものの未来に可能性はあると思っているし、新しい技術を自分で体験してみたかったからです。

仮想通貨が、ゲーム感覚の投機対象ではなく、本当に「貨幣」として流通し始めたら、国家というもののあり方も変わってくるかもしれません。日本だけでなくどの国家も、貨幣を掌握すること

で、国民の経済動向やマインドをコントロールしようとする。だから、たとえ仮想通貨が貨幣として流通しても、仮想通貨で納税することは認められないでしょう。けれど、民間レベルで考えたら、仮想通貨が経済活動の中心になる可能性は十分あるのではと、思っています。

国境は、人が地図上に作ったものにすぎません。様々なモノやおカネは、やすやすと国境を超えて行き来しています。それに対し、国家はヒトやモノやおカネが簡単には超えられないように、様々な工夫をこらしています。たとえば通貨の単位が違ったり、送金理由や金額に制限をつけてみたり。

もし仮想通貨を使って普通に決済ができるようになると、国家の規制は意味がなくなります。為替のリスクもなくなり、送金手数料は劇的に安くなるでしょう。

とくにミャンマーのように自国の貨幣が他国から認められていない国にとっては、仮想通貨はまさに女神様です。最近では日本からミャンマーに送金するのは1日で出来るようになりましたが、日本の祭日とミャンマーの祭日は、微妙にずれているので、最長で1週間から10日かかることもあります。銀行手数料は、送金側と受取側の手数を足すと9,000円ぐらいでしょうか。

ミャンマーから日本に送金するのは、もっと大変です。銀行にたくさん書類を提出して、送金理由を証明しなければなりません。それでも、子会社の利益を親会社に送金したり、親会社から借りたお金を返すのは、まだまだ簡単にはできないのが現状です。

仮想通貨は、これら海外送金の悩みをすべて取り払ってくれます。日本のメガバンクが進出していなくても、ローカルの銀行が信用できなくても、スマホから簡単に、そして瞬時に支払をすることができるようです。

仮想通貨が一部の人の投機対象というような「バクモノ」の存在から、正統な革新的な技術として認知される日がくるといいな~、と期待しているのですが、果たしてそんな日はいつ頃やって来るでしょうかね~。

**マイナビ 対応** **最新 小さな会社の総務・経理の仕事がわかる本**

原 尚美 著、吉田 秀子 著(ソーテック社) **1,400円+税**

総務・経理の仕事…すべてをできるようにするには、とても時間がかかります。大きな会社に入社しても、小さな会社に入社しても、たくさんのことを覚えなくてはなりません。そんなとき一番困るのが、必要書類がわからない、書類の書き方がわからないといったことです。本書は、必要な書類とその書類の書き方の注意点をできるだけ限り掲載しています。総務・経理のしごとに関わるすべての人に読んで、参考にして頂きたい本です。

